

## 平成 29 年度第 2 回大磯町総合計画審議会結果概要

○日時 平成 30 年 3 月 9 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分

○場所 保健センター 2 階研修室

○出席者（会長）成田委員（学識経験者）

（委員）山岡委員（学識経験者）

濱名委員（教育委員会委員）、戸塚委員（農業委員会会長）

尾白委員（区長連絡協議会会長）、大倉委員（観光協会会長）

加藤委員（漁業協同組合組合長）、古川委員（PTA 協議会会長）

名久井委員（湘南ジャーナル社）、船瀬委員（公募町民）

○事務局 参事（政策担当）、政策課長、政策課担当職員

○議題（1）大磯町第四次総合計画後期基本計画実施計画（兼 大磯町人口ビジョン・総合戦略）進行管理書【平成 28 年度】について

（2）大磯町第四次総合計画後期基本計画（兼 大磯町人口ビジョン・総合戦略）実施計画書【平成 30 年度～平成 32 年度】について

○会議記録

### 1. あいさつ

（会長より次のとおりあいさつ）

本日の審議内容は 2 点である。1 点目は第四次総合計画後期基本計画の初年度である平成 28 年度の実施計画進行管理がまとまったので報告がある。2 点目は、平成 30 年から平成 32 年度までの 3 か年を期間とする実施計画について、とりまとまったので説明がある。委員の皆様には忌憚のないご意見等をお願いする。

### 2. 議事

（1）大磯町第四次総合計画後期基本計画実施計画（兼 大磯町人口ビジョン・総合戦略）進行管理書【平成 28 年度】について

資料 1 に基づき事務局から説明を行い、次のとおり意見提案及び質疑応答が行われた。

◎ 「認定農業者数」の指標（資料 1：15, 25 ページ）について、現在はさらに減少していると思う。基準となる年収を達成できるのは酪農や施設園芸くらいであり、後継者がいないと 70 歳以上になって廃業してしまうことが多い。認定農業者数を 30 にすることを目標にするのであれば、収入だけを基準にするのではなく、経営規模や耕作面積などを基準にするなどの検討が必要である。（委員）

- 高齢化や後継者不足が大きな課題出ることには認識しており、担当課でも減らさないように努力している。平成 29 年からは「農業」を力点に挙げ、取組みを進めている。短期間で増やすのは難しいが、町としても農業者の数を維持・向上させられるよう、審議会での意見を担当課にも伝え取り組んでいく。(事務局)
- ◎ 認定農業者数は平成 29 年度にはさらに減ってしまう見込みなのか。(会長)
- ◎ そのように考える。先日の農政懇談会では現在 18 人であると報告されていた。平成 32 年度までに認定農業者数を 30 にするのは困難であると思う。(委員)
- ◎ 農地の集約化を図るなど、目標が達成できるような対策が早々に必要ではないか。(委員)
- ◎ 目標値の途中変更は可能なのか。(委員)
- 総合計画に基づき、5 か年で様々な施策を実施していく。目標値は、どういうものが達成されれば、その施策全体が進んでいるか把握するための一つの指標である。毎年担当課に振り返ってもらうことで、進捗度を把握しながら取組みを進めていくために設定している。進行管理の 1 年目であるので、すぐに判断するのではなく、次年度以降の状況を考えて変更の妥当性を考えていく。(事務局)
- ◎ 現状や要因等も分析し、目標値の変更の検討も必要であると思う。(会長)
  
- ◎ 認定事業の「幹線 21 号線整備事業」(資料 1 : 11 ページ) について、特に国府橋の進捗においてどこが問題になっているのか教えていただきたい。(委員)
- 用地交渉が絡むことなので、土地の売買交渉等が課題であると担当課からは聞いている。(事務局)
  
- ◎ 「児童発達支援施設数」の指標(資料 1 : 17 ページ) について、今後の整備予定等を教えていただきたい。(委員)
- 現時点では詳細な見通しは立っていない。(事務局)
- ◎ 既に動きがないのであれば、あと 4 年で実現するのは難しいと思う。発達障がいと思われる子どもが増加しており、学校の先生の負担が増加している。現場の声を踏まえて対応していただきたい。(委員)
  
- ◎ 人口ビジョン・総合戦略の 23 ページで「ワークライフバランスを支援する保育サービスの充実」とある。共働きやひとり親の家庭が増加しており、仕事をしながら子どもを育てられるよう、具体的な評価指標にはないが、退職された世代の力を借りられるような体制を充実させることができれば、子育て世代にとってはありがたいと思う。(委員)
- ご提案のあった内容に該当するものとして、本町でも「ファミリー・サポート・

センター事業」を実施している。(事務局)

- ◎ そういった制度があることを知らない方も多いと思うので、周知をお願いしたい。(委員)
- ◎ 私もそのような制度があることを知らなかった。ひとり親家庭が増加し、ニーズは増加しているし、サポートする側として興味がある方も埋もれていると思うので、もっと広めてもらいたい。(委員)
- ソフト事業は総合計画進行管理書には含まれないが、町の事業として、対策は進めている。ご指摘の点は担当課にも伝えさせていただく。(事務局)
  
- ◎ 「審議会・協議会への女性参加率」の指標(資料1:22ページ)について、34.4%から25.7%に減少している原因は何か。例えば、観光の核づくり推進委員会には女性が入っていない。女性の活力を取り入れることは重要であると考え。(委員)
- 団体からの推薦により委員を委嘱していることが多い。女性が少なくなったのは役員改選によるタイミングにより、減少してしまったものとする。(事務局)
- ◎ 女性の比率の基準をつくるのもひとつの方法としてあると思う。(委員)
- 大磯町には全部で審議会が37あるが、その中で34の審議会には女性委員が1人以上は参画している。(事務局)
  
- ◎ 「数値目標達成状況」(資料1:14~25ページ)での各項目の表示方法について、指標値の目標が「以上」なのか「以下」なのか明確にした方が良く考える。(委員)
- 記載方法については、改善できるよう検討する。(事務局)
  
- ◎ 「ボランティア団体数」の指標(資料1:18ページ)と「町民活動団体数」の指標(資料1:19ページ)は何が違うのか。(委員)
- 所管している部署が異なり、それぞれ対象とする団体の定義が異なる。(事務局)
- ◎ 団体は重複していないのか。(会長)
- 重複している団体もありうると思う。(事務局)
  
- ◎ 「子育てでずっと・当分住み続けたい意向」の指標(資料1:14ページ)は、なぜ数値が示されていないのか。(委員)
- 本項目はアンケート調査の結果に基づくものである。アンケート調査は、計画策定時に行うため、毎年実施していない。次期総合的計画を策定する際には、実

施する予定である。(事務局)

- ◎ 目標に設定しているのに、調査をしないのはいかがなものかと思う。(委員)
- ◎ 費用面を考えるとどうなのかという点もあろうと思う。別指標で検討するものひとつではないかと考える。(会長)

(2) 大磯町第四次総合計画後期基本計画(兼 大磯町人口ビジョン・総合戦略)実施計画書【平成30年～平成32年度】について

資料2に基づき事務局から説明を行い、次のとおり意見提案及び質疑応答が行われた。

- ◎ 計画完了及び休止等事業一覧(資料2:17～18ページ)で「農業振興計画事業」(資料2:18ページ)が完了と記載されている理由はなにか。(委員)
- 予算が伴わないものは実施計画から外している。策定作業については、平成30年に予算を伴わない方法で実施する。(事務局)
- ◎ 事業の実施箇所などは、地図がないとわからないので、見せ方を工夫してもらいたい。(委員)
- ◎ 認定事業の「4-11 給食調査事業」(資料2:13ページ)について、事業費の内訳とスケジュールを教えてください。意見交換会でも意見として出ていたが、スケジュールを決めて進める必要があると思う。(委員)
- 手元に詳細な資料がなく、事業費の内訳はわからない。スケジュールは未定であるが、順次提示して調査していくと聞いている。(事務局)
- ◎ 生徒会に直接意見を聞いて進めることも方法として考えられると思う。(委員)
- ◎ 「認定事業はありません」とするのではなく、「認定条件に該当する事業はありません」という表現に変えてはどうか。(会長)
- 意見を踏まえて検討する。(事務局)
- ◎ 認定事業の「大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業」(資料2:11ページ)の進捗はどのような状況か。(委員)
- 今年度の検討会議では、大磯駅周辺の再整備案を検討し、A案とC案の2案に絞りこんだと聞いている。(事務局)
- ◎ 地元に経済効果が現れるようにしていかなければならないと思う。これに関連して、認定事業の「大磯港みなとオアシス推進事業」(資料2:11ページ)につ

いても進捗等を伺いたい。(委員)

- ◎ 今年の10月に施設を解体し、2020年に完成する予定である。漁業協同組合が二宮と合併したため、港も活気づくと考えている。大磯市と一緒に開催している朝市は月一回であるが、水産物の直売などを毎日実施したいと考えている。(委員)
  
- ◎ 歳入の確保が課題である。国から示されている地方創生関係交付金の活用をすべきである。(委員)
- 地方創生関係交付金は十分に活用できていない状況にある。国は使い勝手がよい交付金と言っているが、他の補助金があると活用できないなど制約が多い。引き続き活用を検討していきたい。(事務局)
- ◎ 財源がないとなにも事業ができないので、財源確保に努めていただきたい。(委員)

### 3. その他

- 平成28年度総合戦略事業の評価結果について

総合計画審議会での評価検証を経て、町の今後の方向性を決定したことについて、参考資料1-1、参考資料1-2に基づき事務局より報告した。

- 次期総合的計画策定に向けた次年度以降のスケジュールについて

次期総合的計画策定に向けた次年度以降のスケジュールと、それに伴い開催する次年度の総合計画審議会の予定について参考資料2に基づき事務局より報告した。

以上